

奇妙旅行

#9

人を赦し、赦されるということは、
難しいですね。

いつもとてもひきつけられるストーリーだなと思います。

これからも頑張ってください（会社員 女性）

[女性:会社員] 2月28日(木)19:00観劇

最初から重々しい雰囲気、テーマを承知の上で観に来ましたが、

いざ自分がどちらの当事者になっても自分ならどうしたか？

どうするのか？ これからも自問自答すると思います。

お父さん役の重藤さん、熱演でしたね。

他の皆さんもgoodでした。次回作も楽しみにしています。

[男性] 2月28日(木)19:00観劇

先日『奇妙旅行』の初日を拝見しました。

前回の『産まれた理由』も気になっていましたが行くことができず、

ワンツーワークスさんの舞台は初めてです。

観終わって、身体の真ん中にずっしりと重たい物を受け取ったような気分になり、

しばらく動けませんでした。

お芝居を見てそんな感覚になったのは初めてです。

それは、題材が重かった(≒気持ち为重くなった)というような単純なことではなく、

何かとても重要な物事を、頭ではなく身体で受け止めたということでした。

殺人という題材は、現実身近に起きればとてつもなく重い出来事であるはずなのに、

メディアや創作の中であまりにも頻繁に、また好奇の対象として扱われ、その感触が非常に軽くなっているように思います。

バーチャルな、あるいは観念的なものが先行して、具体性や現実味がどこか欠落してしまっているというか。

この作品の魅力は、殺人そのもの(背景や動機など)をあえて焦点化せず、その後を生きる家族を通して、殺人という行為がもたらすインパクトを、ひたむきなほど現実的に(主観的な現実という意味で)捉えようとしているところではないかと思います。

被害者・加害者、どちらに加担するのでもなく、かと言って名ばかりの客観性を求めるのでもなく、むしろ当事者の主観をじっと見つめ続ける、掬い取ろうと手を伸ばし続ける、という姿勢、それを貫いているところに感銘を受けました。

役者の発する言葉や表情にも嘘がなく感じられ、各々の生きた身体を通して、まるで舞台と客席が繋がっているかのような臨場感で、様々な「現実」を見せてくれました。

これが芝居というものか!とすら思われました。

それにはまず作者がしっかりと取材をされていることが大きいのだらうと思います。

非常に骨太の、見応えのある作品でした。

またぜひ次の舞台も観に行きたいと思っています。

[男性:会社員] 2月28日(木)19:00観劇

■ -----

とても熱のこもった演技に圧倒されました。

加害者、被害者の家族、双方の気持ちが痛いほど伝わってきました。人の生命はかけがえのない大切なものとしみじみ感じました。若い人たちにも見てもらいたいお芝居でした。あまりにも簡単に人を殺す時代ですから。

[女性] 3月2日(土)14:00観劇

■ -----

心にズドンとききました。

[無記名] 3月2日(土)14:00観劇

■ -----
前回は見たはずですが、今回のほうが9・11、3・11、そして自分の様々な経験や状況を鑑みると、すごく重いです。最後の「殺意があるけど殺せない」そうだなあと思います。殺された者の気持ち、それはどこにあるのでしょうか。

[女性] 3月2日(土)14:00観劇

■ -----
犯罪被害者と加害者の家族のストーリーと聞いて、どの人に感情移入できるか想像がつかなかったが、全ての登場人物になりえる自分が怖かった。

[男性:医師] 3月2日(土)14:00観劇

■ -----
非常に重いテーマでなかなか頭の中が整理できません。
被害者も加害者も魂が救われることがあるのかと考えてしまいます。
永久に答えの出ないことなのかもしれません。

[男性:製造業] 3月2日(土)19:00観劇

■ -----
加害者、被害者、犯罪はどちらの家族もズタズタにするものだと思います。
人間の憎しみを改めて考えました。
また、許されないという苦しみも改めて考えました。
2つの家族と、当事者、どちらの気持ちにもなりながら、
実際におきた色々な事件を思い出しながら観ました。
取材型のおしばいもいいですが、1度古城さんを通してストーリーをつくられている作品が大好きです。

[女性] 3月2日(土)19:00観劇

■ -----
前回の公演を見逃したので楽しみにしていました。
期待通り、いやそれ以上でした。
ありがとうございました。面白かったです。

[無記名] 3月2日(土)19:00観劇

■ -----
舞台なのにそこだけ切り取ったような迫力がありました。

“演技に吸いこまれる”とはこのこと。

背景や場所までも見えてくるような、リアルな演技でした。

その人、その人の言葉や行動に目が釘付けで、

身を乗り出しながら見ました。

終わった後も、しばらく余韻がのこってます。

ストーリーから演出、役者さんたちの演技まで、すごすぎました!!!

また観たいです!!!

[女性] 3月3日(日)14:00観劇

■ -----

再演ということだが新鮮に観せてもらいました。

演出がすばらしく音楽の効果もとても良かった。役者の皆さんが

皆真剣でその姿とシリアスな内容と重なり合い、涙が出ました。

こういう作品を取り上げられる劇団はやはりワンツーワークスだけかな。

ただ暗いだけでなく、ジワジワと心に響いてくる作品をこれからも

みせていただきたい。応援してますよ!

[女性] 3月3日(日)14:00観劇

■ -----

人を赦し、赦されることは難しいですね。

難しいテーマを扱っていて力作だなと思いました。

[女性] 3月3日(日)14:00観劇

■ -----

娘を失った母だったら……

人を殺めた息子を持ってしまったら……

どの場面も逃げ出したいくなるような心持ちになりながら、

それでも逃げ出せない当事者だったら……。

誰の心も嘘じゃない。

前回の公演も観ましたが、我が子が育った分、今回の方が衝撃度強し。

[女性] 3月3日(日)14:00観劇

■ -----

展開がおもしろく最後迄飽きない内容でした。

個人的に犯人の母と夫が面白かった。とても良かったです。

[無記名] 3月3日(日)14:00観劇

■ -----

この公演が初めて観るワンツークラス作品となります。

言葉や文字に起こそうとするとどう表現すればいいか

つまってしまいますが、思わず耳や目をそらしたくなりました。

[高校生] 3月4日(月)19:00観劇

■ -----

見ている時、ずっと、重かったです。

生であるから目をそらしちゃいけないなと思いながら見ていました。

良い意味で本当にしんどかったです。

[女性] 3月4日(月)19:00観劇

■ -----

難しいテーマの内容です。

果たして人が人を殺すことが出来る行為は特別なことですが、

でも戦争におきかえると、個人である人を殺すのに、

それが国と為という大義をもって良しとされてしまう。

その行為が、今日の劇のように心の苦しみにつながらないのは何故?

今日の舞台は全て苦しみの中にあることが救いでした。

[無記名] 3月4日(月)19:00観劇

■ -----

考えさせられる?重いか?やっぱり重いね。

自分ならどうする、でもいつも考えているテーマですよ!!

[無記名] 3月4日(月)19:00観劇

■ -----

殺すとか殺されるとか、そんなこと考えたことはありませんでした。

多分今夜は眠れません!

[無記名] 3月4日(月)19:00観劇

■ -----

気持ちがいっぱいになってアンケートを書けません。

こんなの久しぶりでびっくりです。

たくさんの悲しみ怒り憎しみがごちゃごちゃないまぜになって

今私の中を満たしています。とてもとても好きな作品です。

ぐるぐるして言葉にならない感情が、あふれそうでせきとめられています。

生と死の話は受けとる側もとてもエネルギーを使います。

だから心地良いつかれがあります。脚本は以前から持っていて、

いつか見たいと思ってたのでとてもうれしいです。

[学生] 3月4日(月)19:00観劇



被害者の家族と加害者の家族と一緒に旅行させるとは

何と恐ろしいことをさせるのかと思いましたが、

作家が用意したシチュエーションは度肝を抜くものでした。

みんなの気持ちに感情移入してしまい、芝居が終わった後は

石のように動けなくなってしまいました。

[会社員] 3月5日(火)19:00観劇



ずっと楽しみにしていましたが、話が難しく集中力が必要でした。

もう一度じっくり観たいです。

[公務員] 3月5日(火)19:00観劇



悲しいとも違う、何とも言えない、苦いような気持ちになりました。

たかだか18年生きて、大切な人を失った事もない私には、

あまりに深く、共感できはしないけれど、

ただ、見てとても良かったです。

[学生] 3月5日(火)19:00観劇



ひどく疲れました。

感想をまとめることはできない程衝撃を受けました。

役者さんたちの力演には拍手です。

[女性] 3月6日(水)14:00観劇

■ -----
昨今、加害者側の人権、被害者側の人権、
加害者側の人権が尊重されている感がある中、
本当に色々と考えさせられる舞台でした。
難しい問題ですね。

[会社員] 3月6日(水)14:00観劇

■ -----
終始緊迫した空気がびりびりと流れているのに、
時折少し笑えるところがあって不思議な空間にまぎれこんだなーと思いました。
皆さんのキレのある動きがこわかった!すてき!
すごい芝居観せていただきました。ありがとうございます。
テンポも良くて観やすかったです。

[無記名] 3月6日(水)14:00観劇

■ -----
こんなにも緊張感のある舞台、カーテンコールでうまく手がたたけませんでした。
観に来て良かったです。素晴らしい作品でした。

[役者] 3月6日(水)19:00観劇

■ -----
役者の皆さんの熱演に引き込まれ、
2時間がとても短く感じられました。難しいテーマで、観終わっても結論の無い、考えさせられるもの
で、少々重い気持ちを抱えて帰ることになりましたが、自分のエゴやら「我」についてちょっと考えてみ
るきっかけになりそうです。

正解はないと思いますが。他者との間で、うらみなど無くおおらかに
過ごせるのは幸せな状態だと改めて思うところです。

[教員] 3月6日(水)19:00観劇

■ -----
加害者家族、被害者家族の感情があらわになって興味深かったです。

[女性] 3月6日(水)19:00観劇

■ -----
それぞれの登場人物がかかえてる痛みや葛藤がひしひしと伝わってきました。

本来の人間の姿を見たような気がします。

心に残る作品でした。

ありがとうございました。

[女性] 3月6日(水)19:00観劇

■ -----
秀逸かつ濃密な芝居でした。

結論は出せませんが、人間はどんな状況でも、生きている限り、
自分の心に何か折り合いをつけて生きて行かねばならない宿命を
感じました。

[主婦] 3月7日(木)19:00観劇

■ -----
放心状態です。心の中の葛藤を演出するのは大変だったと思いますが、
役者さんの演技力で最後まで観ることが出来ました。
それぞれの立場の心の叫びは伝わってきました。

[無記名] 3月7日(木)19:00観劇

■ -----
人とはなんだろうか?考えさせられる物語ですね。

[無記名] 3月7日(木)19:00観劇

■ -----
やはり『奇妙旅行』、大好きです。深く、様々なことを、見る側に問いかける、
考えさせるものが多くて。そぎおとされ、説明的でなくて。

[女性] 3月7日(木)19:00観劇

■ -----
かなり昔の前公演も見ましたが、あの当時よりもさらに悲惨な事件が益々増えている中、
このテーマは見る方もかなり辛いですが、語られるべき話であると実感しました。
当事者たちの境遇など、一般の人達には全然知る機会もないので、有意義な体験だったと
思います。

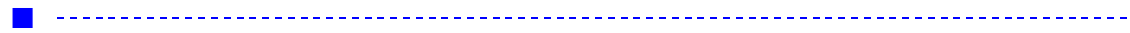
出演者の皆様、本当にほんとうにお疲れ様でした!!

[女性] 3月7日(木)19:00観劇

■ -----
本日2回目でした。1回目よりも、もっと細かい部分まで見る事ができて、

更に楽しめました。直接役者さんたちの“感情”が流れ込んできて、
思わずその衝撃で涙を流してしまう場面も!!
重いストーリーでしたが、こういう考えさせられるものは大好きです。
ほんとに楽しかったです。

[女性] 3月8日(金)19:00観劇



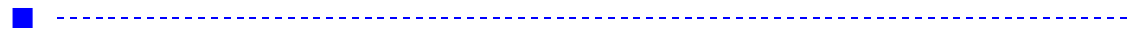
現実の問題として深く考えさせられました。
演技も皆さんすばらしかったです。
とても感動しました。

[主婦] 3月8日(金)19:00観劇



以前に日韓フェスティバルで韓国の方の演出は観ていたのですが、
今回古城さんの演出を観ることができてとても良かったです。
ギリギリの人間の感情がここまで引き出せ、表現されていることが、
超越していると感じました。すばらしかったです。

[女性] 3月8日(金)19:00観劇



もの凄い作品でした。娘を熊本からつれて来て良かったと思います。
次回作も楽しみにしています。頑張ってください。

[大学教授] 3月8日(金)19:00観劇



朝、花粉症の薬を飲んでから出かけたにせよ開演と同時に睡魔におそわれるとは何事!!
という思いと闘いつつ見逃してなるものかと舞台を注視。
演出、照明、音響、演技すべてに満足し、
ラストでは花粉のせいとは思えない涙と鼻水。
なぜ涙があふれたのか?人間の愚かさゆえか?
すぐ友人に見て欲しいと伝えた。

[女性] 3月8日(金)19:00観劇



引き込まれました。

すばらしく、全体からひびいてきました。次回作も期待します。

[男性] 3月9日(土)14:00観劇

■ -----

加害者・被害者の苦悩がひしひしと伝わってきました。

[男性:SE] 3月9日(土)14:00観劇

■ -----

「被害者の気持ちを自分なりに理解しているつもり」と序文に書いてありましたが

何を理解されたのかな、と疑問に感じました。

被害者支援に関係している者です。

[無記名] 3月9日(土)14:00観劇

■ -----

深い内容でした。

あり得ないとは思いましたが、考えさせられる内容だったと思います。

重藤さんの熱演、かっこよかったです。

[会社員] 3月9日(土)14:00観劇

■ -----

最初に公演する作品を聞いたときはSFミステリーかな?と思いました。

しかし実際にパンフレットを見たらドキュメント系の作品で、内容は被害者遺族と加害者の家族が一
緒に旅行をするという実に奇妙な内容でした。

それにしても演じていた人の演技力・演出が総じて素晴らしかったです。

まるで本当に目の前で演技ではなくその人自身かと思う程に。

[男性:サラリーマン] 3月9日(土)19:00観劇

■ -----

人の深層心理にある、普通はふれず、表にも出さない部分がすごく良く表現されていました。巧い…。

[男性] 3月9日(土)19:00観劇

■ -----

初演を観たときは事件が匿名すぎることに全く感情移入出来なかった覚えがあります。

今回見て、後味が悪いというとは違う感じだと思いました。ジャッジ拒否の反応ですね。

加害者・被害者双方の家族の思いという点でドラマを見たとき、事件の規模がどうあれ質は関係ないということだと思います。ではこの作品をどう見るかと問われたとき、これ以上考えたくない、……見なかったことにしたい、……抑圧してしまいたいという思いこそが正常な感覚なのではという気がしています。

[男性] 3月9日(土)19:00観劇

■ -----
結構エグい内容なんだと予備知識を持ってきましたが、

予想をはるかにこえるエグさでした。皆さんの演技で2時間あっという間でしたが、汗びっしょりの緊張しっぱなしでした。また来ます!

[無記名] 3月9日(土)19:00観劇

■ -----
今回の『奇妙旅行』は、「一跡二跳」の時の再演なので楽しみにしてきました。

初演の時より、生々しい感じがしました。

その分、印象に残る場面もたくさんありました。

細かい部分の伏線も今回は読み取れて、解り易い感じでした。

次回も楽しみにしています。

[会社員] 3月9日(土)19:00観劇

■ -----
被害者、加害者の人間の本音と理性。

極限の永遠のテーマ、決して答えは見つからないはず。

それを、とても上手くまとめあげていたと思う。

普段考えもしないこと、短時間の間舞台を通して考えさせていただきました。

[無記名] 3月10日(日)14:00観劇

■ -----
衝撃だった。

ギリギリの勝負って、これか。

勉強になりました。

[男性] 3月10日(日)14:00観劇

